

平成 25 年 9 月 吉日

関 係 各 位

公益社団法人沖縄県不動産鑑定士協会
会 長 松 永 力 也
(職印省略)

土地月間に係る無料相談会と記念講演会のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の運営にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、国土交通省主唱の土地月間実施に伴い、無料相談会と記念講演会を下記のとおり開催することになりましたのでご案内申し上げます。

つきましては、何卒同活動の趣旨をご理解くださり貴関係等の皆様へ、ご案内して頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、無料相談会は直接会場にて受付をします。講演会へ参加ご希望の方は「講演会参加申込書」にて当協会事務局までお申し込み下さい。

謹白

記

『不動産に関する無料相談会』～予約不要当日会場にて受付～

日 時 : 10月11日(金) 午前10:00～午後4:00
場 所 : 沖縄県本庁舎 県民ホール1階
内 容 : 土地に関する法律問題、土地税制、不動産鑑定全般についての相談に応ずる。
主 催 : 公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会
共 催 : 沖縄県、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会
後 援 : 国土交通省、一般社団法人九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会

『土地月間に係る記念講演会』～別紙申込書にて受付～

日 時 : 10月9日(水) 13:50開会 16:40閉会予定(受付開始13:00)
場 所 : 沖縄県庁4F講堂
第1部 : テーマ 『嘉手納以南6基地の返還計画が明らかになった今 那覇新都心から学ぶもの』
講 師 那覇新都心株式会社 代表取締役社長 新田 進 氏
第2部 : テーマ 『駐留軍用地跡地利用の計画と実践』
講 師 北中城軍用地跡地プロジェクト・マネージャー 高嶺 晃 氏
定 員 : 120名(参加費 無料) 定員になり次第締切ります
主 催 : 公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会
共 催 : 沖縄県
後 援 : 一般社団法人 九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会

以上

記念講演会参加申込書

平成 25 年 月 日

公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会 事務局 宛

FAX 098-869-9181

日時：10月9日（水） 13：50～16：40 （13：00受付開始）
場所：沖縄県庁4F講堂（那覇市泉崎1-2-2）

第1部：14：00～15：10

テーマ 『嘉手納以南6基地の返還計画が明らかになった今
那覇新都心から学ぶもの』

講師 那覇新都心株式会社 代表取締役社長 新田 進 氏

第2部：15：30～16：40

テーマ 『駐留軍用地跡地利用の計画と実践』

講師 北中城軍用地跡地プロジェクト・マネージャー 高嶺 晃 氏

参加費：無料

定員：120名（定員になり次第締め切ります。）

団体・所属名 _____

連絡先電話番号 _____

FAX番号 _____

参加申込者ご氏名

1	6
2	7
3	8
4	9
5	10

【お問合せ先】 公益社団法人沖縄県不動産鑑定士協会 事務局（上江田・呉屋）
電話番号 098-867-6275

平成 25 年度 土地月間記念講演会のお知らせ

主 催：公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会

共 催：沖縄県

後 援：一般社団法人 九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会

日 時：平成 25 年 10 月 9 日（水） 13 時 開場 / 13 時 50 分 開会

場 所：沖縄県庁 4F 講堂

参加費：無料

定 員：120 名

事前に当協会事務局までお申し込み下さい。
定員になり次第締め切りとさせていただきます。

~~~~第 1 部~~~~

### 嘉手納以南6基地の返還計画が明らかになった今 那覇新都心から学ぶもの

講 師 新田 進 氏 [那覇新都心株式会社 代表取締役社長]

概 要 嘉手納以南 6 基地の返還計画が公表された今、那覇新都心がどのような課題を抱え、それをどのように解決してきたのか、あるいは未解決のまま残されているのかを学ぶことが、これからの基地跡地利用を考える上で有用ではないか。「マチナトハウジングエリア」と呼ばれていたアメリカ空軍基地跡地開発としての那覇新都心の街づくりの、外からは見えないそのプロセスと実像を知ることが、これからの基地跡地利用の参考になれば本望である。

[講師略歴等]

昭和 50 年 横浜国立大学大学院工学研究科建築学(都市計画)専攻修士課程修了  
平成元年 地域振興整備公団(現都市再生機構) 那覇都市開発事務所計画課長  
平成 11 年 那覇都市開発事務所次長  
平成 20 年 UR 都市再生機構本社 地方都市業務部長  
現在 那覇新都心株式会社 代表取締役社長  
資格等：技術士、一級建築士、国等の基地跡地開発の委員に就任中

~~~~第 2 部~~~~

駐留軍用地跡地利用の計画と実践

講 師 高嶺 晃 氏 [北中城軍用地跡地プロジェクト・マネージャー]

概 要 駐留軍用地返還と跡地利用は、時代の移り代わりの中で変化してきた。軍用地料の打ち切り、原状回復の放置、細切れ返還、事業計画の変更等に加え、地権者合意形成は経済の動向による意識変化も大きく影響した。それぞれの返還地が抱えていた「課題と計画」そして「実践」とがどのようにして「新しいまちのかたち」に結びついていったのかを述べる。

[講師略歴等]

昭和 22 年那覇市生まれ。九州産業大学工学部建築学科卒業、同大助手・講師、那覇市都市計画部長、那覇市上下水道事業管理者、内閣府派遣駐留軍用地跡地利用プロジェクト・マネージャー、名桜大学大学院非常勤講師、沖縄国際大学非常勤講師。著書「タイム イズ タイム」論文「沖縄の集落」等。

お問合せ先 公益社団法人沖縄県不動産鑑定士協会事務局 電話番号 098-867-6275